

# 校 宝

真庭市立久世中学校 学校便りNo.12

令和2年3月13日 文責 学校長 児島 みどり

校訓 『至誠』 ～自主・親和・努力～



## 卒業～久世中学校96名の巣立ち

令和元年度卒業式式辞より

…『厳しい冬を乗り越えた先には、花開く春がやってくる』日本で暮らす私たちはこのことを知っています。今、日本のみならず世界中が新型コロナウイルス感染症の拡大というかつてない難局にみまわれ、人類の英知をかけて収束に当たっているところです。まさに今、私たちは、厳しい冬の状況の真ただ中にいます。ここを耐え、乗り越え、穏やかで希望に満ちた春の訪れを信じて待ちましょう。ここ真庭市でも休校を余儀なくされた状況の中、保護者の皆様、在校生の代表、そして教職員全員で真庭市立久世中学校第16回卒業式を挙行できますことを心から喜びたいと思います。

96名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとともに過ごした日々が輝く思い出となって蘇ります。

3年生になってすぐの修学旅行では、沖縄の海の碧さ、人の温かさを知り、平和への願いを強め、友との友情を胸に刻みました。世界遺産である首里城の存在感に圧倒され、琉球王国の歴史に想いを馳せました。その後、火災で消失してしまったことへの悲しみは本当に大きなものでしたが、皆さんの目には、鮮やかな朱色に彩られた首里城の美しい姿がしっかりと焼き付いていることと思います。

運動会では、皆さんのリーダーシップにより生徒一人ひとりが演技や応援、係の仕事を精一杯やりきり、キラキラと輝きました。今年度は、集団演技の最後に生徒、教職員全員が輪になり、伝統ある久世中の校歌を高らかに歌いあげました。観覧されていた保護者や先輩も加わり、晴れ渡る秋空の下、心ひとつに歌声を響かせました。感動的な瞬間でした。

部活動でも、粘り強く、最後まで諦めない「久世中魂」を発揮し、多くの部が活躍しました。中でも、相撲競技は昨年に続き県大会で優勝し、二年連続で全国大会に出場する快挙を成し遂げました。また、理科工作部も昨年に続き、ロボットコンテストでよい成績を収め、中国大会に出場を果たしました。また、文化発表会では、各部が工夫を凝らしたパフォーマンスを披露し、観ている人たちを楽しませてくれました。運動部、文化部ともに素晴らしい足跡を残しました。そんな皆さんの背中をきつと後輩たちが追っていかせてくれることでしょう。

さらに、生徒会の各委員会の活動では、ビブリオバトル、無言清掃、Z1グランプリ、ノーディスプレイチャレンジ、幼稚園や小学校への出前健康講座など、学校内外で様々な

活動に主体的に取り組みました。皆さんのこのような活動により、『スマホサミット優秀校』としての表彰や『生活リズム向上優良活動表彰』も受けることができました。これらの取組を通して、学校として様々な成果を上げると同時に、皆さん自身が人前で表現する力や企画し、運営する力など、これからの社会で必要とされる大切な力も身に付けていきました。

冬を迎え、入試が近づくと、先の見えない不安や焦りと闘う日々が続きました。先生や友達と語り合い、励ましあいながら日を追うごとにクラスの絆を深めていきました。そんな中、3年生最後となる大切な学校生活が突然奪われました。予期せぬ休校となり、それぞれの家庭での学習、そこからの入試となってしまいました。しかし、それは決して孤独な闘いではなかったと思います。離れていても、学校にいなくても3年間共に過ごしてきた仲間を感じながら一緒に闘った最後の日々だったと思います。

今、皆さんの周りには、かけがえのない時間を共に過ごし、支えてくれた友達や先生がいます。そして、生まれた時からずっと、どんなときも皆さんの味方であり続け、見守り続けてくれた家族がいます。ここまで支えてくれた人たちとの絆を大切に、惜しみなく注いでくれた愛情を自信に変えて、ここから始まる新しい世界へと踏み出してください。厳しい冬を乗り越えた先には、温かい希望の春が来ることを信じて、どんな状況でもたくましく、そして自分らしく、歩んで行ってください。

大空へ羽ばたこうとする鳥は、その翼を大きく広げて、空高く舞い上がろうとします。皆さんにとって、その『翼』は、一人ひとりが持っている自分の〈夢〉であり、〈希望〉に他なりません。夢を語り、希望を持ち続ける人であってください。皆さんは、私の、久世中学校の誇りです。限りない可能性に満ちた皆さんの未来に幸多かれと願います。

### 卒業式までの日々・・・

◎入試前の休校中、3年生の希望者が時間を区切って登校し、最後まで粘り強く勉強や面接練習に取り組みました。先生たちもその思いに応えようと一人ひとりに向き合い、真剣に指導に当たりました。頑張ったその過程こそが貴重な経験となり、これからの皆さんを支えてくれることでしょう。



◎生徒のいない学校はなんと寂しいことか！臨時休校中に職員だけで卒業式の準備をしながら、皆さんがいる当たり前の学校の姿がいかに尊いものかを改めて感じました。『短い時間でも心のこもった温かい卒業式にしよう！』職員みんなで思いを込めて準備を進めていきました。この思いが皆さんに届いたでしょうか？

◎3月12日、卒業式の予行のため3年生は久しぶりの登校となりました。前日に入試を終え、張っていた気も少しは緩んだでしょうか。友達と顔を合わせ、止まっていた日常がやっと動き出したと感じた人も多かったと思います。誰もがとても穏やかな表情をしていました。かつてない形ではありますが、今日の卒業式が一人ひとりにとって素敵な思い出になることを願っています。



### 3年生 部活動栄光の証 優秀選手

#### 岡山県中学校体育連盟優秀選手

相撲 三村 一真 横山 凱士

#### 美作地区中学校体育連盟優秀選手

バドミントン 男子 石井 智也 武藤 遼太郎 金子 昇翔  
女子 金平 実久 森脇 瑠菜

バスケットボール 三村 一真

卓球 崎花 叶

バレーボール 矢谷 麻衣

#### 真庭支部中学校体育連盟優秀選手

バレーボール 青木 未果

バスケット 男子 赤岩 芽玖 植田 洋介

女子 藤田 陽也 駒木 博美

バドミントン 男子 金子 昇翔 石井 智也 武藤 遼太郎

女子 金平 実久

卓球 中島 里桜



努力の証  
受賞おめでとう!

### 3年生保護者の皆様へ

お子様のご卒業おめでとうございます。大切なお子様を三年間お預かりいたしました。が、必ずしもご満足のいくような支援ができず、ご心配をおかけしたこともあったかと思えます。しかし、最後まで本校の教育活動にご理解とご協力、そして、温かいお声かけをいただきこの日を迎えることができました。職員一同心より感謝申し上げます。お子様たちが生きるこれからの時代は、変化の激しい、混沌とした時代になることは間違いありません。しかし、どんな困難な時であってもお子様たちは本校で学んだ事を基礎にして、これからの人生を力強く生き抜いてくれるものと信じております。最後の入試直前、予期せぬ

休校を強いられる事態となってしまいましたが、お子様の底力とご家族の皆様の支えのおかげで全員が無事受検を終えることができ、安堵しております。盛大ではないけれど、心のこもった温かい卒業式は、お子様だけでなく私たち職員も一生忘れられない思い出となることでしょう。卒業後もこの久世中学校がお子様の心の基地となれますようこれからも応援していきたいと思っております。今後とも地域から久世中学校を見守っていただければ幸いです。

久世中学校 職員一同

#### 3年団教員



### 令和元年度 真庭市立久世中学校 学校評価書を掲載いたします

2月13日、本校に於いて評価委員会を開催し、下記の評価をしていただきました。一年間、本校を見守り、ご指導、ご助言をいただきありがとうございました。

学校関係者評価委員 福井 孝行 福島 啓介 石村 修 福山 真知子  
A 目標を上回っている B ほぼ目標どおり C 目標を下回っている

評価領域	学校関係者外部評価	評価
授業改善	どの授業でも学習規律が整い、授業スタイルも統一され、生徒が積極的に参加ができている。授業に対する生徒の自己評価も上がっており、大きな改善が見られる。今後、学力を定着させるために授業内でのドリル練習や話し合い活動のテーマ設定の研究、家庭学習の出し方等についての工夫が必要である。	B
生徒指導 教育相談の充実	校舎内外の清掃が行き届き、生徒が落ち着いている。挨拶がよくでき、私の主張発表会等の対外的な行事でも態度がよく好感が持てた。「知」だけでなく「徳」の部分も育っている。SSTの授業やGood Behaviorチケットの取組の成果が自己評価の上昇に表れていると思われる。今後も取組を継続してほしい。	A
学校行事 道徳教育の推進	本年度、運動会、文化発表会、私の主張発表会等の行事を参観する中で、生徒が主体となって生き生きと活躍する様子が見られた。教職員が一体となって学校を改革しようとする姿勢が感じられた。保護者、生徒、教職員すべての肯定的な回答が90%を超えており、高い評価が妥当である。	A
健康教育の充実	講演会、生徒会の委員会や部活動による啓発活動、PTAによる集会等、いろいろな立場から様々な取組を行ったことが評価され、学校表彰も受けた。スマホ利用に関する項目については、本校の経年比較において成果は見られたが、課題は多い。保・幼・小とも連携し、さらなる取組が必要である。	B
地域連携の推進	地域連携から一歩進んで地域貢献を目指した取組を推進しており、将来的に地域で活躍する生徒の育成に努めている点を評価したい。地域の商工会の方々との交流活動も増え、キャリア教育の側面で生徒により影響を与えている。学年、学校便りやHP等での学校様子の発信もよく出来ており、保護者の評価も高い。	A
【総評】 本年度は、教職員と生徒の自己評価の結果がほぼ全ての項目で上がっており、昨年度からの取組が成果として表れてきていることが窺える。たくさんの目標を掲げ、新しいことにも果敢に取り組んできた大変な一年であったと思うが、先生方が意欲を持ってやりきり、満足感や達成感を得ていることがよかった。校内だけでなく今日的な課題もあり大変ではあるが、外部の機関等とも連携をしながら生徒のために一丸となって取り組んでほしい。		